

平成 29 年度 特別養護老人ホーム 土肥ホーム 事業報告

1. 概況報告

今期の土肥ホーム特養の概況としては、特養利用者の高齢化及び重度化による死亡退所が発生した。年間延べで18人の入退所変動があり、次期入居者の大部分はショートステイ利用者や在宅サービスを幅広く利用するユーザーであり、特養へ入居が進むことで、在宅サービスの実人員の大幅な減少原因となった一年であった。

特養では期中に嘱託医変更から生じる、新しい医療体制の仕組みと医療・看護・介護の連携強化に対し、体制構築を推し進めた。

在宅サービスでは多様化するニーズと土肥地区の地域性に特化した、「住み慣れた地域で生活を支えあう地域包括ケアシステムの推進」にむけて展開をした。

また、社会福祉貢献事業として、介護サービスによらない地域で必要なニーズの掘り起しを探り、公益的なサービスの発足に向けて着手した。

働き手である人材に関しては、地域の元気な高齢者の雇用を積極的に行い、間接的な業務を高齢者労働へ転換し、慢性的な人材不足の解消に繋げることができた。

建物設備関係では中長期計画に基づいた、照明器具のブロック別LED交換工事など予定に基づき実行したが、老朽化による空調機関係の突発的な取替工事についても、更新工事予定として年次に組入れることの必要性と更新に耐えうる資金確保が今後の課題となった。

(1) 各事業

①特養（介護老人福祉施設）

新医療体制の下、健康管理を行なった。看介護の連携を蜜にし、利用者の高齢化・重度化に伴い、体調変化への早期発見や感染症に対し、意識付けの強化や前年度の反省を活かす対応をした。また、安全で安心できるサービスの提供と介護負担の軽減を図るために、リフトなどの介護用具の活用をした。

②ショートステイ

個別ケア計画の一連の流れは確立まで至らないが、ユニット会議を活用し、ケアの充実は図れた。また、余暇活動の継続も出来ている。家族介護負担軽減という役割を職員皆が自覚し、緊急ショート等、柔軟な受入体制を確立した。他事業所へのPR活動から他地域の利用増加に繋げた。

③デイサービス

体制変更に伴う、業務内容の変更に取り組んだ。コンセプト『充実した生活を応援する』を推進するために、職員の共通理解を深め、日々の業務に取り組んだ。また利用者の状態変化等の情報を他部署と共有しニーズに合わせた介護に繋げる事が出来た。

④ホームヘルプサービス

各部署との連携を強化し個々の情報を共有し、介護計画に反映させた。派遣体制については、スタッフの不足時もあり一時は新規の受け入れも難しい事もあったが、他部署の協力を得て利用者のニーズに合わせた体制をとることができた。

⑤居宅介護支援事業

利用者個々の理解やニーズの抽出を的確に行えるよう、課題整理総括表を有効活用した。病院との連携ツールの共有をはかり、医療連携の強化につなげた。戸田地域の体制変更に対して連携方法の構築に務め、連絡会の開催・事例検討会に出席した。また、個別ケア会議に地域の課題をあげることで、包括ケアシステム構築に貢献する。

⑥地域包括支援センター

地域支えあい体制作りとして地域住民の働きかけに取り組んだ結果、協議体の発足やロコトレOB会継続など地域住民が活動できる場を増え、地域づくりを通し地域包括ケアシステム構築に向けた活動に繋げることができた。また多様化する様々な相談に対し、関係機関との連携により適切な支援につなぐことを目指した。

⑦グループホーム

持ち上げない介護技術を活用しスタッフの身体的負担を軽減する事ができた。日々の申し送りが伝わりやすいように新書式を導入することができた。広報誌を定期的に発行しPR活動を行い、また、利用者の口コミで紹介があり、新規利用者の確保に繋げることができた。

(2) 運営管理

①事務

安定的な運営と効率的な施設整備を目指したコスト管理を行い、今後の修繕に備えた積立金計画を作成した。今期、修繕としてエアコン設備の更新やLED照明、厨房水周り工事を実施した。経営状況の発信については、今期は管理会議での報告のみだったが、今後開催予定のリーダー力向上研修をとおり中間層への意識付けを行う。

②看護

利用者の高齢化・重度化により看取り・医療的ケアの対応が迫られる年であった。期中に嘱託医変更となり、看介護協働による利用者の健康管理の医療ケアの充実に繋げた。感染対策も感染拡大防止に努めたが、感染予防に対する職員理解と課題が残るものとなった。

③食事

栄養摂取改善部会を通し、多職種連携のもと、栄養ケアマネジメントの実施により、利用者の栄養状態と健康状態に関する実態を把握し、健康状態の改善に努めた。食事サービス満足度部会にて利用者ニーズ把握と郷土料理や季節料理の提供など、イベント性の高い食事提供を行った。

④防災委員会

事業継続計画(地震・津波編)について、昨年度の策定に基づき訓練を実施することができた。また、事業継続計画(風水害編)を新たに検討・策定、有事を想定した訓練を行い職員に対する防災意識の高揚に努めた。各種備蓄品(非常食等)の見直しは次年度への継続課題とした。

⑤リスクマネジメント委員会

新たな集計システムを立上げ、集計・分析・傾向と対策が一連の流れで部署において行うことができるよう新たな仕組みを整えることができた。

⑥研修委員会

全職種で共通したテーマ「アンガーマネジメント」について、外部講師を招いて全体研修を実施し、スタッフ同志共通言語を持つ事ができた。また、介護職員に特化し「スピーチロックを無くす取り組み」について実践報告、研修報告、グループワークを実施し、他部署のスタッフとともに学ぶ機会を作る事ができ、参加者から大変好評を得て、今後の委員会活動の指針となった。

2. 施設概要

平成30年3月31日現在

名称	特別養護老人ホーム	土肥ホーム	
事業内容	第1種社会福祉事業	※特別養護老人ホーム	定員 50人
	第2種社会福祉事業	※在宅老人短期入所事業	定員 11人
		※通所介護事業 一般型(月～金)	定員 35人
		※通所介護事業 一般型(土)	定員 15人
		※訪問介護事業	
		※認知症対応型共同生活介護事業	定員 18人
		総合事業第1号通所事業(通所介護現行相当サービス)	
		総合事業第1号通所事業(サービスA)	
		総合事業第1号訪問事業(訪問介護現行相当サービス)	
		総合事業第1号訪問事業(サービスA)	
	その他の事業	※居宅介護支援事業	
		地域包括支援センター(伊豆市土肥支所内設置)	
		「食」の自立支援事業	
		身体障害者居宅介護等事業	
		移動支援事業	
		生活管理指導短期宿泊事業	
		生活管理指導員派遣事業	
		オリジナル弁当サービス(自主事業)	
		健康増進教室(自主事業)	
		(※印は介護保険指定事業)	

所在地	静岡県伊豆市小土肥787-2		
敷地面積	5,179.79㎡		
建物規模構造	特養	鉄筋コンクリート造3階建	3,093.17㎡
	地域交流室	木造2階建	164.16㎡
	グループホーム	鉄骨コンクリート造2階建	567.41㎡
運営開始日	特養	平成5年4月1日	
	グループホーム	平成23年4月1日	

居室タイプ別床数
特養（ショート含む）

	個室	2床室	3床室	4床室	合計床数
1階					
2階	4	1	4	9	54
3階	7				7
合計室数	11	1	4	9	61

3. 施設整備状況

年月日	物件名	数量	目的・用途
平成29年8月31日	特養居室 エアコン設備更新工事	1	老朽化による更新
平成29年9月30日	レーザープリンタ	1	医療体制変更による備品整備
平成29年10月31日	入浴用ストレッチャー	1	老朽化による更新
平成29年10月31日	フルリクライニング車椅子	2	入所者重度化による備品整備
平成29年11月30日	厨房水周り更新工事	1	労働環境の整備による更新
平成29年12月31日	デイルーム エアコン設備更新工事	1	老朽化による更新
平成30年2月28日	昇降機巻上げロープ取替え工事	1	老朽化による更新
平成30年3月29日	2階LED照明リニューアル工事	1	住環境の整備による更新

4. 施設の開放状況（施設の開放）

開放先	内容	回数
伊豆市特養連絡会	会議等開催	1

5. 職員派遣状況

派遣先	派遣者	内容	回数
伊豆総合高等学校 土肥分校	福室悦子	進路に関する社会人講話	1
伊豆市地域包括支援センター運営協議会	福室悦子	伊豆市地域包括支援センター運営協議会	2
権利擁護及び虐待防止対策推進協議会	福室悦子	権利擁護及び虐待防止対策推進協議会	2
静岡県介護支援専門員協会	黒川正樹・花沢恵子	介護支援専門員研修講師	9
静岡県健康福祉部福祉長寿局介護保険課	黒川正樹	主任介護支援専門員更新研修	3
(株) アスク・ヒューマン・ケア	黒川正樹	TC入門・実践講座	2
シニアクラブ静岡県	黒川正樹	単位シニアクラブ新任会長研修会	1
静岡県介護支援専門員協会東部支部	花沢恵子	静岡県介護支援専門員協会東部支部会議	3
伊豆市在宅医療連携推進協議会	花沢恵子	伊豆市在宅医療連携推進協議会	1
静岡県介護支援専門員協会	花沢恵子	協力団体代表者会議	1
シニアクラブ伊豆の国	黒川正樹	シニアクラブ伊豆の国女性会員研修会	1

6. 施設の開放状況（ボランティアの受入状況）

団体名	年間回数	1回当たり平均人数	延べ人数
土肥ホーム清掃ボランティア	79	3.4	265
土肥地区民生児童委員協議会	1	21.0	21
伊豆総合高校 郷土芸能部演奏会	1	50.0	50
伊豆市土肥地区赤十字奉仕団	1	2.0	2
西伊豆地区郵便局婦人会	1	9.0	9

7. 研修受入状況

受入事業所	受入団体名	内 容	受入人数
土肥戸田ホームヘルプサービス	伊豆市生活支援担い手養成研修	援助同行	2
土肥戸田居宅介護支援センター	静岡県介護支援専門員実務研修	見学実習（3日間）	1
特別養護老人ホーム 土肥ホーム	土肥中学校教諭 初任者研修	社会奉仕体験活動（6月・10月各1日）	1
特別養護老人ホーム 土肥ホーム	土肥高等学校（バイオセラピー）	花の苗の植栽	8
特別養護老人ホーム 土肥ホーム	土肥中学校1年生、2年生	福祉体験・交流等	15

8. 事業別利用状況

(1) 特別養護老人ホーム 利用状況

①入所状況（定員：50人）

（4月1日～3月31日）

期首在所	期中入所	期中退所	期末在籍	期中延数 外泊含まず	1日平均 在所数	在籍中 入院延数	ショート 空床利用数
50	18	18	50	17,521	48.0	649	57

②介護度別入所者数

（4月1日～3月31日）

区 分	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	計	平均介護度
男	31	21	30	0	8	90	3.7
女	119	157	151	57	40	524	3.5
計	150	178	181	57	48	614	3.6

(2) ショートステイ 利用状況（定員：11人）

（4月1日～3月31日）

区分	介 護						予 防			合計
	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	小計	要支援1	要支援2	小計	
利用者延人数	625	1,233	1,167	750	488	4,263	5	98	103	4,366
	一日平均									12.0

(3) デイサービス一般型 利用状況（定員：35人）

（4月1日～3月31日）

	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援2	要支援1	現行相当	基準緩和	自主事業 （自費）	合計
利用者実人数	22	65	76	216	165	192	40	74	163	6	1,019
利用者延人数	105	428	760	1,969	1,306	1,395	142	278	616	19	7,018
開所日数	310	310	310	310	310	310	310	310	103	310	310
	一日平均										22.6

(4) ホームヘルプサービス 利用状況

（4月1日～3月31日）

区 分	身体介護		生活援助		身体生活		小計		予防（現行相当・ 基準緩和含む）		合計	
	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間	延回数	延時間
介護保険	1,953	1102:15:00	1,058	904:25:00	397	409:50:00	3,408	2416:30:00	2,485	2282:35:00	5,893	4699:05:00
障 害	144	194:05:00	453	508:20:00	0	0:00:00	597	702:25:00	0	0:00:00	597	702:25:00
自 費	14	7:40:00	0	0:00:00	0	0:00:00	14	7:40:00	82	65:15:00	96	72:55:00
計	2,111	1304:00:00	1,511	1412:45:00	397	409:50:00	4,019	3126:35:00	2,567	2347:50:00	6,586	5474:25:00

(5) グループホーム 利用状況

①入居状況（定員：18人）

（4月1日～3月31日）

期首在所	期中入所	期中退所	期末在籍	期中延数 外泊含まず	1日平均 在所数	在籍中 入院延数	ショート 空床利用数
18	5	5	18	6,490	17.8	35	0

②介護度別入居者数

（4月1日～3月31日）

区分	介 護						予 防		合計
	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	小計	要支援2	小計	
利用者延人数	467	1,371	1,087	2,333	1,232	6,490	0	0	6,490

(6) 居宅介護支援事業 給付管理状況 (4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画件数	115	121	123	131	127	128	128	132	127	122	133	132	1,519
予防プラン受託件数(総合事業含む)	26	26	27	29	27	28	28	25	24	24	23	21	308

(7) 地域包括支援センター利用状況

①地域包括支援センター 実績状況 (マネジメント業務) (4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防支援	42	42	44	44	45	46	46	43	43	42	36	39	512
介護予防支援(委託)	17	18	18	19	19	20	18	17	15	16	14	16	207
介護予防マネジメント	47	47	45	47	46	45	45	45	45	42	42	42	538
介護予防マネジメント(委託)	12	13	13	11	9	8	10	9	9	10	9	8	121

②地域包括支援センター 実績状況 (相談業務等) (4月1日～3月31日)

相談件数・内容

内 容	件 数
介護相談	1,925
地域支援事業	713
介護(要介護)	101
介護(要支援)	1,746
虐待(疑いも含む)	18
その他	489

権利擁護に関する活動

内 容	件 数
成年後見人制度	48
消費者被害	0
困難事例	94
権利擁護	0
日常生活自立支援事業	4
その他	67

開催実績

開 催 実 績	人 数	開 催 実 績	人 数
地域ケア個別会議	17	ロコトレOB会	1,513
家族介護者教室	30	民生委員へのロコトレ教室の啓発	48
土肥・天城湯ヶ島地区合同事例検討会	85	土肥圏地域ネットワーク会議	51
お通者健康相談	112	介護予防推進に関わる協議体 (つくしんぼの会との井戸端会議)	8
ふれあいサロン	141		
認知症サポーター養成講座	31	ロコトレOB インボディ測定	45

(8) 配食サービス 利用状況 (4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延 食 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オリジナル利用実人数(自主事業)	28	25	27	28	25	24	23	25	22	24	26	27	304
延 食 数	406	469	466	445	419	378	403	399	386	346	375	438	4,930

9. 事故・苦情報告

(4月1日～3月31日)

区 分	特養	ショート	デイ一般	デイ認知	ホームヘルプ	Gホーム	小規模	ケアハウス	居宅支援	包括	配食	合計
事 故	10	0	0		0	1			0	0	0	11
苦 情	0	0	0		0	0			0	0	0	0

10. 職員常勤換算数前年対比

(3月31日現在)

	前年度末人員		当年度末人員	
	職 員 数	常勤換算数	職 員 数	常勤換算数
常 勤 職 員 数	45	45.0	45	45.0
非 常 勤 職 員 数	56	46.6	57	37.1
合 計	101	91.6	102	82.1